

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

＜本年度の学力向上基本方針＞

学校課題研修

豊かなかかわり合いを通して、生き生きと学ぶ児童の育成

～読み、書きの指導を中心に、基礎・基本を確実に身に付けさせる指導～

主な研究教科・・・国語科（書く）

＜本年度の学力向上策＞

わかる授業：授業のユニバーサルデザイン化 のびる授業：主体的・対話的学びから深い学びへ

☆授業の中での支援

- ・学習計画の提示による見通しをもたせる工夫。
- ・モデル（ゴール）の提示により、学習意欲の向上を図る。
- ・授業の流れや板書の仕方、ノート指導の共通理解、ワークシートの活用により、安心して取り組む環境を整える。

☆環境面での支援

- ・系統性のあるドリル、ノートの使用
- ・1日の予定の提示
- ・タイムタイマー
- ・教室前面の環境整備

【学校の勉強はよくわかる（児童アンケート）90%以上】

【学校は分かりやすい授業を行っている（保護者アンケート）90%以上】

家庭との連携・共通理解・共通行動

☆家庭との連携

- ・家庭学習（宿題）の進め方を配付し、具体例を示す。

☆落ち着いた環境整備

- ・「学用品について、話の聴き方」など、植水小の基本的な学習のやくそくの定着を図る。

【自分から進んで勉強している（児童アンケート）80%以上】

【学習状況調査の平均正答率が前年度を上回る】

＜本年度の振り返り＞

- ・学校評価アンケートより、児童が「学習はよくわかる」と回答した割合が9割を超え、「自分から学習できている」との回答割合も昨年を上回った。一方、「学校は分かりやすい授業をしている」では「わからない」が1割あるため、学校だよりや公開週間を活用して広く授業の様子を伝えていく。
- ・市学習状況調査の平均正答率は、昨年とほぼ同率であった。「モデル文」「ノート指導の共通理解」「ふりかえりの記入」など、学習のスタイルを次年度も積み重ねていく